

機 関 誌

埼 危 連

SAIKIREN

第10号

令和元年8月10日発行



公益社団法人 埼玉県危険物安全協会連合会

発行所：公益社団法人 埼玉県危険物安全協会連合会
埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-5

発行者：会長 榎田 達治
印刷：(株)櫻井印刷所

目 次

ご挨拶 公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会 会長 榎田達治	2
平成31年度通常総会開催	3
埼玉県危険物事故防止連絡会	
令和元年度埼玉県危険物安全講演会	
危険物安全功労者表彰	4
埼玉県危険物安全協会連合会会長表彰	4
1 優良危険物事業所	5
2 優良危険物取扱者	5
3 優良普及啓発活動	6
「安全への提言 近年の自然災害や危険物災害、今、何をすべきか」	
防災工房保安・防災アドバイザー 東野 郁夫氏	7
公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会創立30周年記念式典の開催	13
平成30年度事業報告・決算報告	14
平成30年度事業報告	14
平成30年度決算報告	15
平成31年度事業計画・収支予算	18
平成31年度事業計画	18
平成31年度収支予算	19
会員名簿	20
役員名簿	21
平成31年度危険物取扱者保安講習のご案内	22
平成31年度危険物取扱者試験準備講習会のご案内	22

表紙写真／春日部市牛島古川公園のひまわり（資料提供：春日部市）

大落古利根川沿い、春日部第一児童センター「エンゼル・ドーム」に隣接する牛島古川公園（Ⅱ期）では、毎年8月上旬から下旬にかけて、約4,000平方メートルの広場に、真夏の太陽の光をたっぷり浴びた約2万4,000本のひまわりが満開を迎えます。

このひまわり広場は、平成8年から休耕田を利用して始められ、平成30年度からは市内の子供たち自身がひまわりの種まきを体験するイベントも行われています。

子どもの目線に近い高さ40～60cmほどの「ビッグスマイル」や、高さ180～200cmほどにまで育つ「ハイブリッドサンフラワー」、赤みがかった花の色の「サンリッチオレンジ」など、色も形も異なるひまわり達が、地域住民だけでなく市外からの多くの観光客の目を楽しませてくれます。

また、夏のひまわりだけではなく、5月にはポピー、10月にはコスモスが咲くほか、隣接する大落古利根川緑道には桜並木もあり、一年中季節の花を楽しむことができる公園となっています。



ご 挨 拶



公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会
会長 榎田 達治

日ごろ、当連合会の事業の推進につきまして、格別のご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、私は、去る5月15日の通常総会、臨時理事会におきまして、公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会会長に就任いたしました。もとより微力ではありますが、役員一同、全力を尽くす所存でございますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、平成の時代が去り、この5月から新たに令和の時代に入りました。

平成の時代には、阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震など大きな災害が発生し、いまだに人々の心の中にその爪痕を残しています。

また、去年は台風や集中豪雨による大きな被害、北海道胆振^{いぶり}地震など大きな自然災害が発生しました。こうした災害に対して、新たな対応が重要な課題となっております。

このような災害に備え、「民による公益の増進」の一翼を担う公益法人として、「自らの安全は自らの手で守る」という自主防災の実現のために、当連合会の果たす役割の重さを強く認識しているところでございます。

特に、私たちの携わる危険物は、経済活動の基盤で、国民生活に不可欠なものですが、ひとたび危険物事故が発生しますと、多くの生命や財産を奪うばかりではなく、周辺地域にも環境汚染等大きな影響を及ぼすおそれがあります。

当連合会におきましては、危険物安全管理思想の普及啓発や危険物取扱者への保安講習、危険物取扱者試験準備講習会などを実施して、防災意識の高揚と危険物取扱者の資質向上を図り、危険物事故の撲滅のためにさらに努力を重ねて参る決意でございますので、皆様方には、これまでも増して、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

**無事故への
構え一分の
隙も無く**

(令和元年度危険物安全週間推進標語)



平成31年度通常総会開催

平成31年度通常総会は、令和元年5月15日、さいたま市中央区のブリランテ武蔵野で開催されました。

総会では、平成30年度の事業報告及び決算報告である第1号議案及び第2号議案が一括して説明され、特に質問はなく、承認されました。(14頁～15頁参照)

また、第3号議案平成31年度会費について及び第4号議案役員の補欠改選についても、原案のとおり可決されました。

なお、総会後に行われた理事会で、会長に榎田達治理事、新たな副会長に小寺崇夫理事が選出されました。

新しい体制の役員は、役員名簿(21頁参照)をご覧ください。

埼玉県危険物事故防止連絡会

埼玉連副会長、埼玉県消防防災課長、さいたま市消防局長、各ブロック代表消防長、石油業協同組合及び埼玉県トラック協会で構成される埼玉県危険物事故防止連絡会が令和元年6月6日、埼玉会館で開催されました。

会議では、まず、消防防災課から埼玉県内の危険物事故の発生状況について説明がありました。

埼玉県内の危険物に係る事故件数は、近年は30件前後で推移していましたが、平成30年は、44件で、前年に比べて18件増加と大幅に増えました。40件を超えるのは平成22年以来8年ぶりとのことでした。

事故を危険物施設別に見ると、過去5年間では、給油取扱所(87)が最も多く、一般取扱所(29)の順です。

事故の発生原因は、人的要因、物的要因、その他の要因で区分すると、最近5年間では、人的要因では66件(全体の47%)で、誤操作や操作確認不十分が人的要因による事故の約67%を占めて

います。また物的要因による事故も77件と多く、腐食疲労等劣化によるものや破損によるものが61件と非常に多くなっています。

事故防止連絡会では、類似の原因による危険物事故が繰り返し発生していること、そして過去に起こった事故事例には、様々な教訓が含まれていることから、県内で発生した事故事例について、事故の原因や対策等を整理し、ホームページで紹介しています。

是非、ホームページをご覧ください、事故防止の参考にしてください。

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0402/kikenbuturenrakukai.html#hoankyousiryou>)

令和元年度埼玉県危険物安全講演会

令和元年度埼玉県危険物安全講演会が、6月6日、埼玉会館において、県、埼玉県危険物事故防止連絡会と当連合会の共催により開催されました。

榎田会長は、開会のあいさつの中で、危険物事故の現況に触れ、今年の標語「無事故への備え 一分の隙も無く」を引用して、「皆様には、常日頃から万全の体制で危険物を取り扱っていただく中で、無事故への構えを維持していただければと願っております。」と事故防止を訴えました。

次に講演に入り、「安全への提言 近年の自然災害や危険物災害、今、何をすべきか」(7頁参照)と題して、防災工房 保安・防災アドバイザーの東野郁夫氏による講演が行われました。



危険物安全功労者表彰

令和元年5月15日の当連合会通常総会後の表彰式において、公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会会長表彰及び関東甲信越地区危険物安全協会連合会会長表彰の伝達が行われました。また、山口武義前会長、渋谷敏男前理事の退任する役員2人へ、榎田会長から感謝状が贈られました。



今回、表彰された方々。榎田会長から一人一人に対して、表彰状・感謝状が手渡されました。誠におめでとうございます。また、退任された役員様においてはご苦勞様でございました。

令和元年度危険物安全大会は、6月3日、東京都千代田区のルポール麹町において開催され、危険物保安功労者に対して、消防庁長官表彰や（一財）全国危険物安全協会理事長表彰が行われました。

令和元年度安全功労者総務大臣表彰の表彰式は、7月11日、千代田区のスクワール麹町で行われ、飯能地方防火安全協会の加藤正幸会長が受賞されました。

それぞれ受賞者は次のとおりです。（敬称略）皆様、たいへんおめでとうございます。

安全功労者総務大臣表彰

飯能地方防火安全協会会長

加藤 正幸

消防庁長官表彰

○保安功労者

（公社）さいたま市防火安全協会会長

有山 佳男

○危険物関係事業所

リンテック株式会社熊谷工場取締役執行役員

熊谷工場長 西川 淳一

（一財）全国危険物安全協会理事長表彰

○危険物保安功労者（個人）

当連合会前会長（蕨防火協会会長）山口 武義

戸田市防火安全協会会長 中島 直人

○優良危険物関係事業所

積水化学工業株式会社

武蔵工場工場長 柏原 久彦

○感謝状

前所沢市防火安全協会会長

並木 政夫

関東甲信越地区危険物安全協会連合会会長表彰

○協会発展と災害防止功労

志木市保安防火安全協会会長 高橋 英明

日高市防火安全協会会長 本木 信一

（公社）川口市防火安全協会会長 吉澤 利雄

戸田市防火安全協会副会長

埼玉とだ自動車学校

西入間広域危険物防火安全協会副会長

黒澤 茂

羽生市危険物防火安全協会副会長

内田 敏次

比企地区危険物防火安全協会副会長

三浦 栄一

○諸設備の充実と安全管理功労

トヨタカローラ埼玉 株式会社

上尾伊奈

株式会社 津乃国

比企地区

太平洋セメント株式会社埼玉工場

日高市

菱光石灰工業株式会社

石灰事業本部生川工場

秩 父

有限会社 本沢商店

蓮田市

埼玉県危険物安全協会連合会会長表彰

○感謝状

山口 武義 前埼玉連会長

渋谷 敏男 前埼玉連理事

○優良危険物事業所

○優良危険物取扱者

○優良普及啓発活動

次ページに続く

埼玉県危険物安全協会連合会会長表彰（続き）

1 優良危険物事業所

危険物施設において、危険物施設の安全管理に努め、他の模範となる事業所

No.	事業所	地域
1	有限会社 太盛	さいたま市
2	信越ポリマー株式会社 東京工場	〃
3	曙ブレーキ岩槻製造 株式会社	〃
4	株式会社恵比寿加工 増長工場	〃
5	自治医科大学附属さいたま医療センター	〃
6	国際興業株式会社運輸事業部鳩ヶ谷営業所	川 口 市
7	有限会社 安田土建	〃
8	エスビー食品株式会社 東松山工場	比 企 地 区
9	埼玉オリジン株式会社 埼玉工場	〃
10	フジミ工研株式会社 滑川工場	〃
11	株式会社 エーケーダイカスト工業所	〃
12	サンメーケミカル 株式会社	〃
13	株式会社セキチュー 上尾店	上 尾 伊 奈
14	D I C 株式会社 埼玉工場	〃
15	有限会社 大野石油	所 沢 市
16	HOYA株式会社 ビジョンケア部門児玉工場	児 玉 郡 市
17	信越ポリマー株式会社 児玉工場	〃
18	白井運輸 株式会社	川 越 地 区
19	興亜産業 株式会社	〃
20	株式会社エクセディ 川越工場	〃
21	有限会社 池留本店	〃
22	埼玉ゴム工業株式会社 羽生工場	羽 生 市
23	島田コンクリート工業 株式会社	飯 能 地 方
24	有限会社 中屋商店	〃
25	アオイ化学工業株式会社 埼玉工場	深 谷 地 区
26	習志野化工株式会社 埼玉工場	〃
27	日立物流コラボネクスト株式会社 首都圏第二事業所	〃
28	昭和通運株式会社 深谷営業所	〃
29	かごはら自動車学校	熊 谷 市
30	柴崎商店	〃
31	株式会社 ヘリテイジリゾート	〃
32	有限会社 増田商店	狭 山 市
33	株式会社イングコーポレーションスマイル鴻巣サービスステーション	鴻 巣 市
34	株式会社 太章興産	〃
35	株式会社 カナオカ	〃
36	コルコート株式会社 埼玉第二工場	行 田 市
37	環境通信輸送 株式会社	〃
38	前田道路株式会社 朝霞合材工場	朝 霞 市
39	株式会社 中屋本店	西入間広域
40	石坂ゴルフ倶楽部株式会社	〃
41	山屋商店	〃
42	前澤工業株式会社 埼玉製造所	幸 手 市
43	野間アスレチッククラブ 株式会社	〃
44	有限会社 栗原鋳油店	越 谷 市
45	株式会社ヒューテックノオリン 関東支店	〃
46	野間アスレチッククラブ株式会社 杉戸スクール	杉 戸 町
47	キグナス石油販売株式会社 セルフ庄和店	春 日 部 市
48	株式会社 キタセキ	〃

No.	事業所	地域
49	有限会社 佐藤半兵衛商店	春 日 部 市
50	株式会社 シンエー	〃
51	HOTEL K-WAVE	〃
52	株式会社 キャステック	加 須 市
53	東日本塗料株式会社 埼玉工場	〃
54	関東物流株式会社 草加事業所	草 加 市
55	セキショウ・カーライフ株式会社 久喜インター店	久 喜 地 区
56	栗橋運送 有限会社	〃
57	フジオックス株式会社 宮代杉戸営業所	〃
58	有限会社 秋山商会	戸 田 市
59	株式会社ENEOSフロンティア Dr.Driveトグ美木店	〃
60	引間運輸 株式会社	秩 父
61	豊泉産業 株式会社	〃
62	小鹿野町役場	〃
63	出光リテール販売株式会社 ファインオイル東日本カンパニー東京支店	新 座 市
64	化研マテリアル株式会社 埼玉物流センター	和 光 市
65	株式会社コスモ 和光新倉給油所	〃
66	有限会社松山 City Hotel シェルティ	三 郷 市
67	アンザイグラビア 株式会社	〃
68	ヨネックス株式会社 東京工場	八 潮 市
69	社会福祉法人世希泉会 ケアハウス マナ	入 間 市
70	株式会社 狭山ゴルフ・クラブ	〃
71	青木燃料店	入間東部地区
72	加藤石油株式会社 蓮田給油所	蓮 田 市
73	関東グリコ株式会社 北本ファクトリー	北 本 市
74	マルキュー 株式会社	桶 川 市
75	キグナス石油販売株式会社 セルフ坂戸SS	坂戸・鶴ヶ島
76	株式会社ツチサカ 白岡工場	白 岡 市
77	ムサシ油脂 株式会社	日 高 市

2 優良危険物取扱者

危険物の安全管理について、特に顕著な功労があり、他の模範となる危険物取扱者

No.	氏 名	事業所	地域
1	和田 訓佳	和田運輸 株式会社	さいたま市
2	小林 和浩	板橋化学 株式会社	〃
3	清宮 治樹	清宮商事 株式会社	〃
4	白井 啓之	有限会社 白井石油店	〃
5	石澤 寛樹	エスケー石鹼株式会社	川 口 市
6	山岸 栄吾	佐々木化学株式会社配送センター	〃
7	崎濱 勇	有限会社 崎浜興業	〃
8	細溝 晃	株式会社 新和	〃
9	小久保富夫	大沢運送 株式会社	比 企 地 区
10	金井 和利	フレンドシップハイツよしみ	〃
11	中村 真樹	株式会社 セブンケミカル 埼玉事業所	〃
12	村上 幸伸	中国割烹旅館 掬水亭	所 沢 市
13	柴崎 真澄	沖電気工業株式会社 本庄工場	児 玉 郡 市
14	笠原 尊	キヤノン・コンポーネッツ 株式会社	〃
15	中澤 勲	羽生市清掃センター	羽 生 市
16	柳澤 勇一	有限会社 柳沢商事	熊 谷 市
17	野口 正明	野口商店	〃
18	佐藤 典和	埼玉産業開発株式会社 大麻生給油所	〃

No.	氏 名	事 業 所	地 域
19	大谷 雄二	有限会社 油屋	狭 山 市
20	新藤 重夫	新藤商店	鴻 巣 市
21	坂口 正城	有限会社 坂口石油	〃
22	野口 明	野口屋商店	〃
23	土谷 将一	SEIオプティフロンティア株式会社 埼玉事業所	行 田 市
24	長山 賢	トヨタ部品埼玉共販 株式会社	〃
25	金子 清孝	株式会社マッサ朝霞スイミングスクール	朝 霞 市
26	石川 浩幸	丸富物流 株式会社	〃
27	吉田 一洋	ストロング工業 株式会社	越 谷 市
28	田浦 辰也	ダイセーロジスティクス 株式会社	杉 戸 町
29	藤田 真潮	古河薬品工業 株式会社	加 須 市
30	崎廣 和美	アトミクス株式会社 加須工場	〃
31	藤波 勇作	日新石油株式会社 Dr. Driveセルフ車加インター店	草 加 市
32	高橋 雅美	千代田塗料工業 株式会社	久 喜 地 区
33	豊島 啓二	豊工業 株式会社	〃
34	深田 明男	狭山貨物運輸 株式会社	〃
35	坂本 勇二	株式会社 秩父中央自動車学校	秩 父
36	金井 克規	株式会社 カナイ 設備	〃
37	山本 辰也	日の丸自動車興業株式会社 新座営業所	新 座 市
38	立澤 浩泰	有限会社 立澤商店	三 郷 市
39	小川 由実	東京精溜工業株式会社 八潮工場	八 潮 市
40	小池 三男	株式会社 積水化成品埼玉	蓮 田 市
41	竹井 成夫	萬歳工業 株式会社	北 本 市

3 優良普及啓発活動

危険物安全管理思想の啓蒙及び普及において、特に顕著な功労があり、他の模範となる個人、団体又は事業所

No.	個人・団体・事業所	地 域
1	株式会社 大宮自動車教習所	さいたま市
2	美幸塗料工業 株式会社	〃
3	立原 誠一（有限会社 立原ディフェンド）	〃
4	埼玉日産自動車 株式会社	〃
5	株式会社 高島屋大宮店	〃
6	石橋 弘（石橋自動車株式会社）	川 口 市
7	佐藤 仁彦（中原建設株式会社）	〃
8	新谷 實（根岸浴泉）	〃
9	株式会社 あんりつ	〃
10	株式会社 鈴木商館	上 尾 伊 奈
11	株式会社 西武ライオンズ	所 沢 市
12	埼玉太平洋生コン株式会社 本庄工場	児 玉 郡 市
13	株式会社 シンワ・スポーツ・サービス	川 越 地 区
14	八洲工業株式会社 川越工場	〃
15	通信興業 株式会社	〃
16	クリーニングショップあらい	〃
17	敷島製パン株式会社 パスコ埼玉工場	〃
18	有限会社 湯山設備工業所	〃
19	株式会社 飯能第一ホテル	飯 能 地 方
20	若宮商事 株式会社	深 谷 地 区
21	花園農業協同組合	〃
22	合資会社 ハス金物店	〃
23	株式会社 井上運送	熊 谷 市

No.	個人・団体・事業所	地 域
24	高崎ターミナルビル株式会社 熊谷店	熊 谷 市
25	熊谷通運 株式会社	〃
26	山岸燃料店	狭 山 市
27	美豊商事株式会社	〃
28	株式会社 新富士空調	鴻 巣 市
29	有限会社 川里防災設備	〃
30	有限会社 野本燃料店	朝 霞 市
31	乙幡石油合同会社 プリムローズあさかS S	〃
32	山藤興業 株式会社	〃
33	株式会社関越物産 埼玉工場	西入間広域
34	有限会社東京濾過工業所 埼玉工場	〃
35	大野消防設備 株式会社	〃
36	医療法人深緑会 市川医院	〃
37	旭彫刻工業 株式会社	〃
38	有限会社 安川商事	〃
39	河原実業株式会社 越谷営業所	越 谷 市
40	株式会社 東京バック	杉 戸 町
41	小林 康弘（有限会社 小林石油）	加 須 市
42	株式会社日立物流埼玉北営業所 東日本P F C	〃
43	株式会社 ヤギシタ	草 加 市
44	シンテック 株式会社	秩 父
45	有限会社 小室商店	〃
46	中井屋商店	〃
47	大日本印刷株式会社 若竹寮	蔵
48	社会福祉法人寧幸会 特別養護老人ホーム第2蔵サンクチュアリ	〃
49	学校法人わらび学園 わらび幼稚園	〃
50	吉野電化工業 株式会社	吉 川 松 伏
51	十文字学園女子大学	新 座 市
52	株式会社 磯野商事	〃
53	社会福祉法人 埼玉福祉会	〃
54	有限会社 鯉清	志 木 市
55	志木教会附属泉幼稚園	〃
56	学校法人市之瀬学園 おおのみち幼稚園・おおのみち保育園	〃
57	学校法人三輪学園 みわ幼稚園	〃
58	学校法人志木学園 幸福の森幼稚園	〃
59	第一屋製パン株式会社 金町工場	三 郷 市
60	医療法人社団愛友会 三郷中央総合病院	〃
61	田島段ボール 株式会社	〃
62	株式会社 大広電気	八 潮 市
63	有限会社 アネモス入間第一ホテル	入 間 市
64	医療法人明晴会 西武入間病院	〃
65	株式会社 初雁工務店	入間東部地区
66	有限会社 崑久家	〃
67	有限会社 美好倉庫	〃
68	社会福祉法人昭仁会 特別養護老人ホーム蓮田園	蓮 田 市
69	石川 浩（株式会社東光高岳 蓮田事業所）	〃
70	久保田 洋志（協防災株式会社 北本営業所）	北 本 市
71	株式会社 会田製作所	桶 川 市
72	坂戸グランドホテルW I N	坂戸・鶴ヶ島
73	有限会社ちちぶや シティ・イン鶴ヶ島	〃
74	有限会社 米屋	白 岡 市
75	有限会社 なかや商店	日 高 市

「安全への提言 近年の自然災害や危険物災害、今、何をすべきか」

防災工房 保安・防災アドバイザー
東野 郁夫 氏

1 自然災害

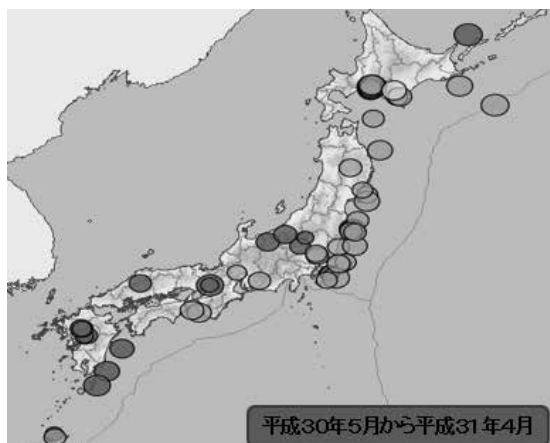
(1) 地震

① M6以上の地震

1996年から10年間で960回その内日本では220回

M6以上の割合	活火山の割合	国土の割合
22.9%	7.1% (110 山)	0.25%

② 震度4以上の回数(平成30年5月～平成31年4月)



震 度	件 数
4	64
5 弱	6
5 強	1
6 弱	3
6 強	0
7	1
合 計	75

③ 震災による死亡原因

震 災 名	死者・行方不明者数	死 亡 原 因
関東大震災	105,385	火 災 87%
阪神・淡路大震災	6,437	建物倒壊等 83%
東日本大震災	18,434	溺 死 92%

④ 地震災害

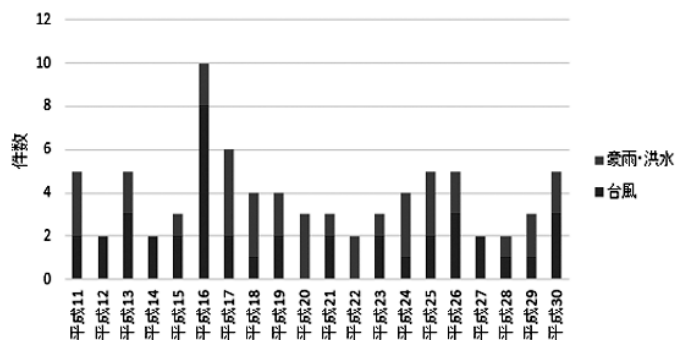
東大名誉教授のゲラー博士の外国特派員協会の会見より抜粋

- ・短期的な予知は不可能、長期的な予測も不可能
- ・周期説は成り立たず、統計的に優位性はない
- ・2002年政府発表の地震危険性マップでも、赤色が危険、黄色が安全というが、11年の東日本震災、16年の熊本地震、18年の北海道胆振東部地震で、いずれも「安全」であるはずの黄色の地域で発生している。

日本は間違いなく地震大国であるから、「いつでも、どこでも起こりえる」というのが真実である。

自然界で想定外は「当たり前」、その上でシンプルな対策を取る

(2) 台風・豪雨・洪水



平成16年以降の被害でも

死者 714名

負傷者 2459名

建物被害 336802棟

タイムライン防災で事前対応に主眼を置くことが重要です。

一例として、J Rでは台風が上陸する可能性が高くなった場合に事前に運休をメディア等で報道している。

○タイムライン防災

平成24年ハリケーンサンティー(米国)でニュージャージー州のバリヤーアイランドで4千世帯の全壊・半壊があったが、事前避難で死者はゼロ。

タイムライン防災が重要であるが、住民は、正常性バイアスによって避難しない。

住民自治(自治会等)による隣近所への声掛け率先行動(みんな避難しているから、避難しましょう！)が重要である。

・ エスニックジョーク(沈没船ジョーク)

アメリカ人「飛び込めば、あなたはヒーローになれます」

ドイツ人「飛び込むのがルールです」

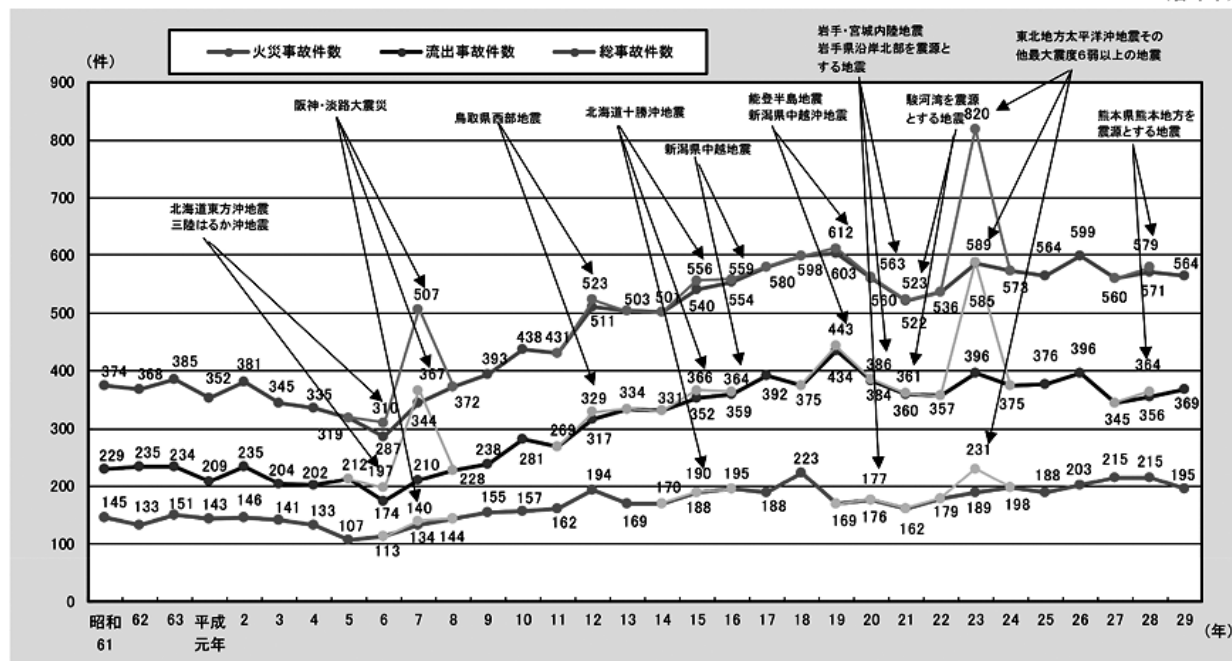
イギリス人「飛び込めば、あなたはジェントルマンになれます」

日本人「みんな飛び込んでますよ」

2 近年の危険物災害

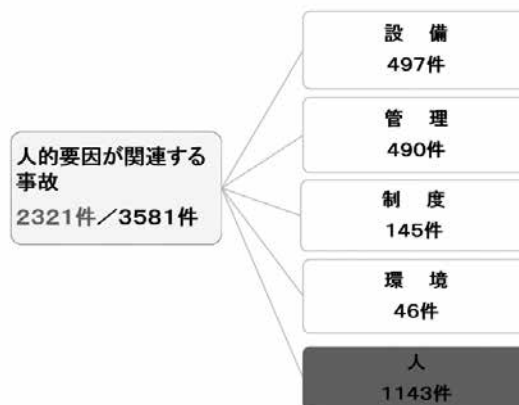
(1) 事故件数の比較

(各年中)



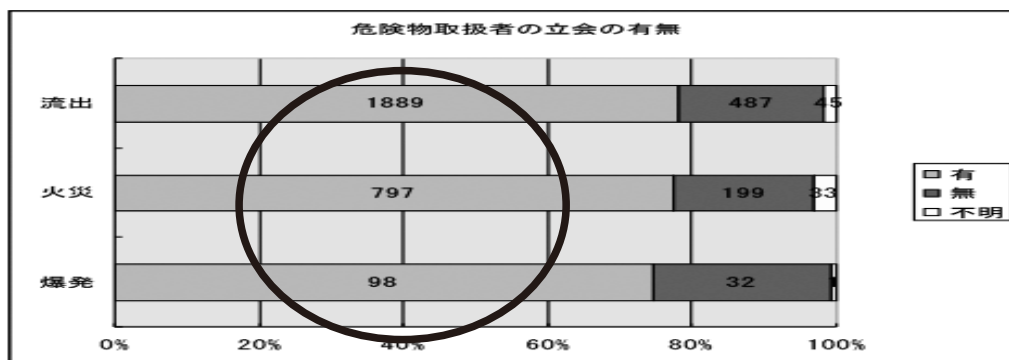
平成6年と平成29年の合計を比較すると196%に増加？

(2) 近年の事故 (2006 年～ 2010 年) 3581 件の解析

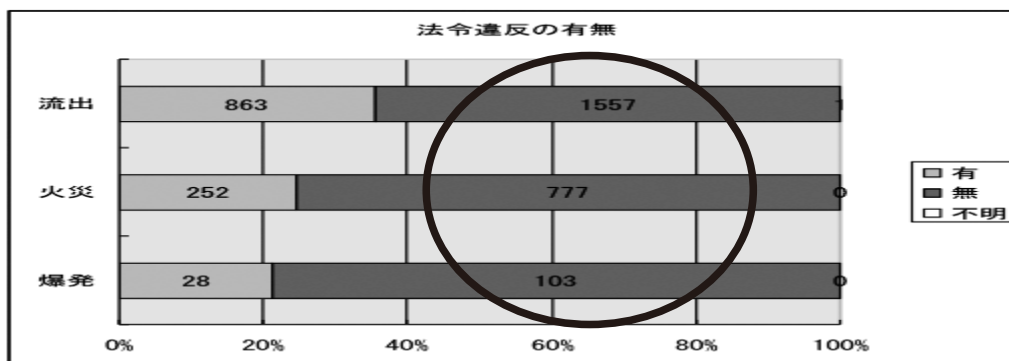


(3) 事故時の状況

① 危険物取扱者の立会状況



② 法令違反の状況



(4) 法令と自主保安

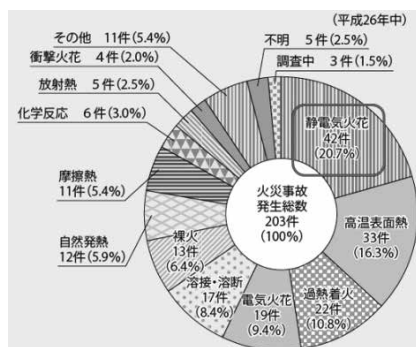
消防法には、2つの基準が盛り込まれている。

- ・ 事故を起こさせないための基準
- ・ 事故を拡大させないための基準

基準も自主保安に委ねられている

法令を守っていたら安全？ 本末転倒！

(5) 火災事故



年	火災件数	静電気	割合 (%)
H26	203	42	20.7
H25	188	35	18.6
H24	198	35	17.7
H23	189	42	22.2
H22	179	32	17.9

過去5年間でも、着火原因の1位が静電気による着火である

H29～H27は、高温表面熱による着火原因が1位であった。

○ペットボトルの実験 (危政令第27条第6項第4号への実験)



空のペットボトル

* 空のペットボトルにガソリンを50cc入れて蓋を閉めて振ると容器の形状は？

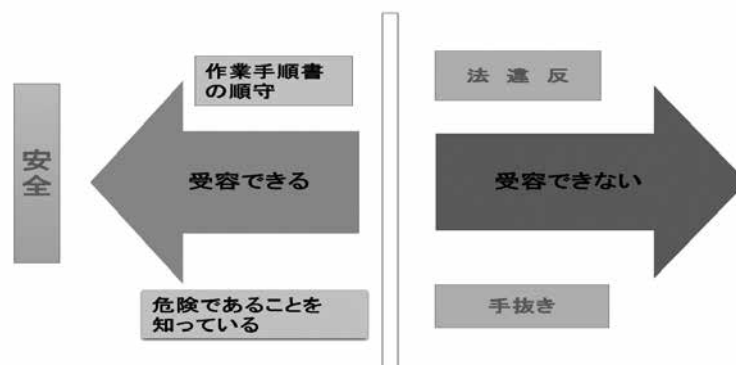
(膨らむ 変化なし ・ へこむ)

* ガソリンを抜き、灯油を50cc入れて蓋を閉めて振ると容器の形状は？

(膨らむ ・ 変化なし ・ へこむ)

3 今、何をすべきか

(1) 安全の考え方



(2) 帯電防止服



・ 帯電防止服は、帯電しない？

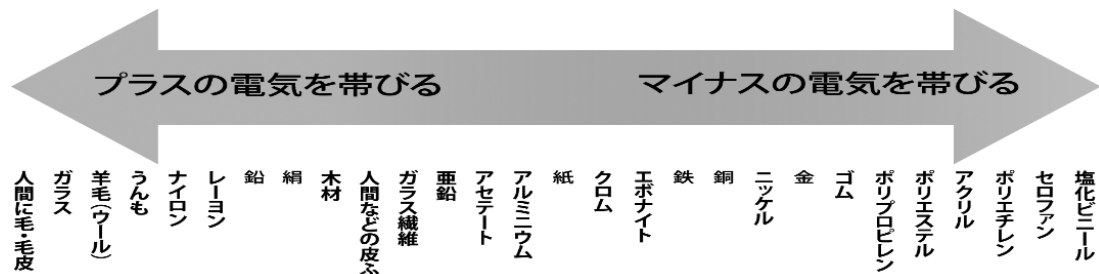
(帯電する 帯電しない)

・ 帯電防止服自体に除電効果がある？

(効果あり 効果なし)

○服装で静電気（帯電量）の発生を抑える

冬場、フリースの上にウールのセーター、帯電防止服を着て作業を行っている？
発電機を背負っている！



出典：「理論がわかる 電気の手づくり実験」 著・川村 康文 株式会社 オーム社

(3) 安全を最優先にするとは

自ら招く不安全行為の愚かさを知る

＊ルール（マニュアル）違反

守りましょうでは守れない？

問題が発生した時に解決することも重要ですが、ライン長は全体を見て問題点を抽出し解決に当たるのがライン長の本来の仕事です。

関心がなければ問題点は見出せない。

(4) 問題点の考え方



(5) 3 S 活動の真の目的は何か

活動の結果、工場が綺麗になったことではない。

大切なことは、活動を通じて、全社員の価値観が同一となり、何事も一丸となって調整する気持ちが芽生えて咲かすことにある。

＊良い企業文化を造る

＊問題発見、解決力を高める

○なぜ、失敗するのか（なぜ、できないのか）

・ 3 S 運動を視察 1500 社（素晴らしいと感想をレポートとして送ってこられる。）

・ 3 S を成功した会社 10 社

○成功させるために

・ 頑なに守り続けることが重要

・ まずやる ・ 全員でやる ・ 例外は作らない ・ できない理由は言わない

・ 率先垂範 ・ 忙しくても中止しない ・ 仕事を止める勇気を持つ等

(6) 災害訓練等

①戦える訓練を行っていますか

- ・訓練に掛けている時間

今までの訓練

準 備 (3 割) 訓 練 (6 割) 評 価 (1 割)

これから

準 備 (1 割) 訓 練 (5 割) 評 価 (4 割)

戦略・戦術のない訓練は、訓練にあらず

「訓練は災害のごとく、災害は訓練のごとく」
でなければ、災害に立ち向かえる訓練ではない
社長等に見せるための訓練だけが続けてはいけない
見せるための訓練は失敗しない訓練を計画している
訓練は、失敗してこそ気が生まれる

4 事故防止

- ・事故は、様々な危険要因の回避、排除を怠った結果です
- ・過去の教訓を生かされていない
- ・日常業務では、何の疑問も持たずに済ましていませんか
- ・消防や諸官庁等の過去のやり取りがきちんと整理されていないがため、ある意味勝手な判断の継承になっていませんか

「安全・品質は企業の基盤」である

無知では何もできない

的確な情報と技術を身に付ける

皆さんがキーパーソン

○参考文献

- ・消防白書 総務省消防庁・事故データベース 危険物保安技術協会
- ・安全工学便覧 安全工学会・災害事例講演集 防災工房
- ・災害関連特集等 ウィキペディア・災害データベース 気象庁
- ・3 S 活動 山田製作所

公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会 創立30周年式典の開催

平成30年度は、当連合会が平成元年に法人格を取得してから30周年を迎えた年度でした。

節目というべき30周年を記念して、平成31年1月24日に30周年記念事業として「記念講演会」「式典（30周年記念功労表彰）及び祝賀会」をさいたま新都心のプリランテ武蔵野で開催しました。

1. 記念講演会

講師に防災システム研究所所長の山村武彦氏を迎え、「災害と危機管理」と題して、近年、多発している地震や水害などの自然災害に対する対応などについて、山村氏の災害現地での経験などをもとに有意義なご講演をしていただきました。



（講演会での講師、山村武彦氏）

2. 記念式典

（1）記念表彰式

30周年を記念して行われた功労表彰では、永年、地区協会長及び役員、当連合会役員、地区協会事務局長をお勤めになった方の表彰、また、日ごろお世話になっている埼玉県消防長会、各消防本部消防長及び永年にわたり保安講習や準備講習の講師を務めていた方々に対して感謝状を贈呈させていただきました。



（山口会長から表彰状を受ける受賞者）

また、表彰式ののちに、ご来賓の埼玉県危機管理防災部長の槍田義之様、さいたま市長代理の埼玉消防局理事の新藤純治様、全国危険物安全協会理事長の佐藤和寿様、埼玉県消防長会会長の大熊郁夫様からご祝辞をいただきました。



（来賓祝辞：槍田埼玉県危機管理防災部長）

3. 祝賀会

表彰式終了後、記念の祝賀会を開催しました。開会にあたってのあいさつとして、山口会長から30年間連合会を運営できたことへの関係各位の感謝の意と出席に対する謝辞を述べさせていただいた後、公務多忙中、埼玉県知事の上田清司様、埼玉県議会議長の齊藤正明様からごあいさつをいただきました。



（上田清司知事）



（齊藤正明議長）

ご出席いただいた皆様方の和やかな談笑のなか、祝賀会のお開きとともに、無事に埼玉連創立30周年記念式典を終えることができました。

30周年式典開催を一つの節目といたしまして、今後、当連合会の運営につきましてさらに皆様方のお役に立てるよう努力してまいりますので、今後ともご支援、ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

平成30年度 事業報告・決算報告

平成30年度事業報告

(平成30年4月1日から平成31年3月31日)

消防法に基づく危険物に起因する災害防止を目的として、安全管理思想の普及啓発や危険物取扱者の資質向上の促進を図るため、保安講習並びに危険物取扱者試験準備講習会などを実施した。

1 公益目的事業

(1) 普及啓発事業

- | | |
|-----------------------|---------|
| ア 機関誌「埼玉連」第9号の発行 | 10,000部 |
| イ 危険物安全講演会の開催（埼玉県と共催） | |
| 期 日 平成30年 6月8日 | |
| ウ 危険物安全ポスターの配布 | 6,850枚 |
| エ 小冊子（ここが危ない危険物） | 3,900部 |
| オ 表彰 | |

危険物の安全管理に努め、他の模範となる事業所などの会長表彰を行うとともに、消防庁長官表彰などの対象者の推薦を行った。

・連合会会長表彰 189個人・事業所

・総務大臣表彰、消防庁長官表彰、（一財）全国危険物安全協会理事長表彰等への推薦

カ 危険物安全管理思想普及啓発強化助成事業 10団体

キ インターネットを活用した普及啓発

連合会の実施事業をホームページに掲載し、危険物安全管理思想の普及啓発に努めた。

ク 埼玉連創立30周年記念事業の実施

(2) 講習等事業

- | | | | |
|-----------------|---------|------|--------|
| ア 危険物取扱者試験準備講習会 | 実施回数26回 | 受講者数 | 1,141人 |
| イ 危険物取扱者保安講習 | 実施回数26回 | 受講者数 | 5,956人 |

2 収益事業

テキスト等販売事業

- | | |
|----------------------------|--------|
| ア 危険物取扱者試験準備用テキストの販売 | 3,774部 |
| イ 地下タンク等点検済証の販売（移動貯蔵タンク含む） | 1,845枚 |

3 法人会計

(1) 諸会議の開催

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| ア 総会 | 平成30年5月16日（ブリランテ武蔵野） |
| イ 理事会 | 5回 |
| ウ 正副会長打合せ会議 | 5回 |
| エ 事務局長会議 | 2回 |
| オ 表彰選考委員会 | |
| カ 危険物安全管理思想普及啓発強化助成事業選定委員会 | |
| キ 会長研修会 | |
| ク 事務局長・事務主任者研修会 | |

(2) 県内関係団体との連携

- | |
|-------------------------|
| ア 地区協会周年記念式典への参加 |
| イ 埼玉県消防長会・消防救助技術指導会への参加 |

(3) 埼玉県危険物事故防止連絡会

(4) 他団体との連携

- | |
|---------------------|
| ア （一財）全国危険物安全協会 |
| イ 関東甲信越地区危険物安全協会連合会 |

平成30年度決算報告

(平成30年4月1日から平成31年3月31日)

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,477,771	3,890,515	△ 412,744
流動資産合計	3,477,771	3,890,515	△ 412,744
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	16,553,210	16,551,559	1,651
基本財産合計	16,553,210	16,551,559	1,651
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	2,138,825	3,878,650	△ 1,739,825
周年記念事業引当資産	2,500,000	5,510,018	△ 3,010,018
事業収入変動引当資産	5,339,778	5,339,258	520
普及啓発強化引当資産	1,106,721	1,868,000	△ 761,279
特定資産合計	11,085,324	16,595,926	△ 5,510,602
(3) その他固定資産			
什器備品	0	0	0
減価償却累計額	0	0	0
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	27,638,534	33,147,485	△ 5,508,951
資産合計	31,116,305	37,038,000	△ 5,921,695
II 負債の部			
1. 流動負債			0
2. 固定負債			0
退職給付引当金	2,138,825	3,878,650	△ 1,739,825
固定負債合計	2,138,825	3,878,650	△ 1,739,825
負債合計	2,138,825	3,878,650	△ 1,739,825
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	28,977,480	33,159,350	△ 4,181,870
(うち基本財産への充当額)	16,553,210	16,551,559	1,651
(うち特定資産への充当額)	11,085,324	16,595,926	△ 5,510,602
正味財産合計	28,977,480	33,159,350	△ 4,181,870
負債及び正味財産合計	31,116,305	37,038,000	△ 5,921,695

正味財産増減計算書内訳表

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業 等 会 計	法人会計	合 計
	普及啓発 事 業	講習等 事 業	小 計	テキスト等 販 売 事 業		
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益					1,651	1,651
基本財産受取利息					1,651	1,651
特定資産運用益					3,660	3,660
特定資産受取利息					3,660	3,660
受取会費					3,841,600	3,841,600
受取正会員会費					3,841,600	3,841,600
事業収益		31,771,180	31,771,180	6,321,340		38,092,520
準備講習会事業収益		7,175,700	7,175,700			7,175,700
テキスト販売事業収益				5,363,050		5,363,050
点検済証販売収益				638,400		638,400
保安講習事業収益		24,595,480	24,595,480			24,595,480
受託収益		24,595,480	24,595,480			24,595,480
奨励金等収益						0
全国危険物安全協会受託収益				319,890		319,890
受取補助金等	1,330,020		1,330,020		10,000	1,340,020
受取全危協助成金	312,000		312,000			312,000
受取全危協奨励金	1,018,020		1,018,020			1,018,020
受取関危連助成金					10,000	10,000
雑収益					223,724	223,724
受取利息					64	64
雑収益					223,660	223,660
経常収益計	1,330,020	31,771,180	33,101,200	6,321,340	4,080,635	43,503,175
(2) 経常費用						
事業費	5,838,729	16,960,333	22,799,062	4,817,344		27,616,406
防災思想普及啓発事業費	2,634,988		2,634,988			2,634,988
表彰費	884,207		884,207			884,207
事務費	468,778		468,778			468,778
印刷製本費	240,300		240,300			240,300
謝金	80,000		80,000			80,000
旅費交通費	19,468		19,468			19,468
通信運搬費	78,235		78,235			78,235
普及啓発強化助成費	764,000		764,000			764,000
普及啓発協賛金	100,000		100,000			100,000
準備講習会事業費		3,852,223	3,852,223			3,852,223
旅費交通費		254,018	254,018			254,018
事務費		432,681	432,681			432,681
食糧費		173,356	173,356			173,356
賃借料		505,322	505,322			505,322
謝金		1,722,000	1,722,000			1,722,000
賃金		100,000	100,000			100,000
受付事務費		386,770	386,770			386,770
租税公課		278,076	278,076			278,076
保安講習事業費		13,108,110	13,108,110			13,108,110
旅費交通費		412,904	412,904			412,904
事務費		1,326,114	1,326,114			1,326,114
食糧費		171,168	171,168			171,168
賃借料		1,032,644	1,032,644			1,032,644
謝金		440,000	440,000			440,000
教材費		7,101,900	7,101,900			7,101,900
実施事務費		1,710,300	1,710,300			1,710,300

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業 等 会 計	法人会計	合 計
	普及啓発 事 業	講習等 事 業	小 計	テキスト等 販 売 事 業		
租税公課		913,080	913,080			913,080
テキスト販売事業費				3,892,205		3,892,205
テキスト購入費				3,032,700		3,032,700
販売協力費				257,896		257,896
賃借料				122,472		122,472
賃金				100,000		100,000
事務費				165,523		165,523
租税公課				213,614		213,614
地下タンク等定期点検促進事業費				925,139		925,139
売りさばき金納付支出				825,600		825,600
事務費				4,367		4,367
旅費交通費				9,242		9,242
謝金				43,200		43,200
租税公課				42,730		42,730
30周年記念事業費	3,203,741		3,203,741			3,203,741
式典費	1,631,438		1,631,438			1,631,438
表彰費	185,997		185,997			185,997
記念事業費	816,940		816,940			816,940
実行委員会費	58,876		58,876			58,876
事務費	510,490		510,490			510,490
管理費	385,902	15,757,682	16,143,584	1,030,691	2,894,364	20,068,639
事務管理費	385,902	15,757,682	16,143,584	1,030,691	1,527,731	18,702,006
給料手当	261,135	12,305,820	12,566,955	767,856	385,072	13,719,883
退職給付費用	9,028	410,774	419,802	13,542	18,056	451,400
福利厚生費	48,257	2,195,676	2,243,933	96,513	72,385	2,412,831
旅費交通費					136,265	136,265
事務費	24,832	248,316	273,148	24,831	198,653	496,632
賃借料	42,650	597,096	639,746	127,949	85,300	852,995
謝金					216,000	216,000
租税公課					70,000	70,000
交際費					346,000	346,000
会議費					1,016,633	1,016,633
総会費					490,886	490,886
理事会費					219,687	219,687
研修費					306,060	306,060
分担金					350,000	350,000
分担金					350,000	350,000
減価償却費					0	0
経常費用計	6,224,631	32,718,015	38,942,646	5,848,035	2,894,364	47,685,045
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,894,611	△ 946,835	△ 5,841,446	473,305	1,186,271	△ 4,181,870
評価損益等計						
当期経常増減額	△ 4,894,611	△ 946,835	△ 5,841,446	473,305	1,186,271	△ 4,181,870
2. 経常増減の部						
(1) 経常外収益						
(2) 経常外費用						
固定資産除却損						
経常外費用計						
当期経常外増減額						
当期一般正味財産増減額	△ 4,894,611	△ 946,835	△ 5,841,446	473,305	1,186,271	△ 4,181,870
一般正味財産期首残高			24,082,344	9,467,788	△ 390,782	33,159,350
一般正味財産期末残高			18,240,898	9,941,093	795,489	28,977,480
Ⅱ 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額						
指定正味財産期首残高						
指定正味財産期末残高						
Ⅲ 正味財産期末残高			18,240,898	9,941,093	795,489	28,977,480

平成31年度 事業計画・収支予算

平成31年度事業計画

(平成31年4月1日から令和2年3月31日)

1 公益目的事業

(1) 普及啓発事業

危険物に係る安全管理思想の啓発及び普及を図るため、次の事業を行う。

- ア 啓発資料（機関誌）の発行
- イ ホームページによる防災思想の啓発
- ウ 危険物安全管理思想の普及啓発を行う団体への助成
- エ 優良危険物取扱事業所等の表彰
- オ その他防災思想普及啓発のための事業

(2) 講習等事業

危険物取扱者の資質向上や育成を促進するなど危険物の安全管理体制の確立に寄与するため、次の事業を行う。

- ア 準備講習会事業
 - (ア) 甲種 (3回)
 - (イ) 乙種第4類 (17回うち1日講習2回)
- イ 危険物取扱者保安講習
 - (ア) 給油取扱所 (9回)
 - (イ) その他施設 (18回)

2 収益事業

テキスト等販売事業

危険物取扱者試験準備講習会のためのテキスト販売や、地下タンク等定期点検を促進するための点検済証販売などの事業を行う。

- (1) 危険物取扱者試験準備テキストの販売
- (2) 地下タンク等点検済証の販売

3 法人会計

その他連合会の目的を達成するために必要な事業を行う。

(1) 諸会議の開催

- ア 総会・理事会等の開催
- イ 研修会の開催

(2) 県内関係団体との緊密な連携

埼玉県、県内各消防本部及び関係団体との連携を密にし、連合会事業の円滑な推進を図る。

(3) 他団体との連携・協力

- ア (一財) 全国危険物安全協会との連携・協力
- イ 関東甲信越地区危険物安全協会連合会との連携・協力

平成31年度収支予算

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益			2,000	2,000
基本財産受取利息			2,000	2,000
特定資産運用益			2,000	2,000
特定資産受取利息			2,000	2,000
受取会費			3,809,000	3,809,000
受取正会員会費			3,809,000	3,809,000
事業収益	31,608,000	6,251,000		37,859,000
準備講習会事業収益	7,096,000			7,096,000
テキスト販売事業収益		5,258,000		5,258,000
点検済証販売収益		679,000		679,000
保安講習事業収益	24,512,000			24,512,000
全国危険物安全協会受託収益		314,000		314,000
受取補助金等	1,080,000		60,000	1,140,000
全国危険物安全協会助成金	361,000			361,000
全国危険物安全協会奨励金	719,000			719,000
関危連助成金			60,000	60,000
雑収益			31,000	31,000
受取利息			1,000	1,000
雑収益			30,000	30,000
経常収益計	32,688,000	6,251,000	3,904,000	42,843,000
(2) 経常費用				
事業費支出	20,362,000	4,787,000		25,149,000
防災思想普及啓発事業費支出	2,936,000			2,936,000
準備講習会事業費支出	4,087,000			4,087,000
保安講習事業費支出	13,339,000			13,339,000
テキスト販売事業費支出		3,977,000		3,977,000
地下タンク等定期点検促進事業費支出		810,000		810,000
管理費支出	16,620,000	1,060,000	3,347,000	21,027,000
事務管理費	16,620,000	1,060,000	1,673,000	19,353,000
給料手当	12,916,000	790,000	394,000	14,100,000
退職給付費用	420,000	14,000	18,000	452,000
福利厚生費	2,401,000	104,000	77,000	2,582,000
その他事務管理費	883,000	152,000	1,184,000	2,219,000
会議費			1,324,000	1,324,000
分担金			350,000	350,000
減価償却費				0
経常費用計	36,982,000	5,847,000	3,347,000	46,176,000
当期経常増減額	△ 4,294,000	404,000	557,000	△ 3,333,000
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
(2) 経常外費用				
当期経常外増減額				
当期一般正味財産増減額				△ 3,333,000
一般正味財産期首残高				28,863,714
一般正味財産期末残高				25,530,714
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
III 正味財産期末残高				25,530,714

(注) 1. 借入金限度額 2,000,000円 2. 債務負担額 408,240円

会 員 名 簿

令和元年8月1日現在

No.	協 会 名	代表者(会員)氏名	〒	所 在 地	電話番号
1	(公社)さいたま市防火安全協会	有 山 佳 男	330-0834	さいたま市大宮区天沼町1-893	048-640-3011
2	(公社)川口市防火安全協会	吉 澤 利 雄	333-0848	川口市芝下2-1-1	048-261-8375
3	比企地区危険物防火安全協会	榎 田 達 治	355-0073	東松山市上野本1300-1	0493-23-2268
4	上尾伊奈防火安全協会	小 川 均	362-0013	上尾市上尾村537	048-775-1314
5	所沢市防火安全協会	新 藤 一 美	359-1118	所沢市けやき台1-13-11	04-2929-9133
6	児玉郡市防火安全協会	入 基 弘	367-0035	本庄市西富田904-3	0495-24-8392
7	川越地区危険物防火安全協会	山 口 佳 郎	350-0823	川越市神明町48-4	049-222-0744
8	羽生市危険物防火安全協会	長 島 清	348-0065	羽生市藤井下組990-1	048-565-1234
9	飯能地方防火安全協会	加 藤 正 幸	357-0015	飯能市小久保291	042-974-7221
10	深谷地区防火安全協会	廣 瀬 三 郎	366-0029	深谷市上敷免858	048-571-0913
11	熊谷市防火安全協会	合 田 健 太 郎	360-0811	熊谷市原島675-1	048-501-0118
12	狭山市防火安全協会	角 田 義 明	350-1333	狭山市上奥富1172	04-2953-7113
13	鴻巣市防火安全協会	久 保 田 英 治	365-0062	鴻巣市箕田1638-1	048-597-2005
14	行田市防火安全協会	小 川 貢 三 郎	361-0023	行田市長野4389-1	048-550-2122
15	朝霞市防火安全協会	小 寺 崇 夫	351-0023	朝霞市溝沼1-2-27	048-463-1190
16	西入間広域危険物防火安全協会	麻 原 正 男	350-0441	入間郡毛呂山町岩井2451	049-295-0163
17	幸手市危険物防火安全協会	手 島 幸 成	340-0114	幸手市東4-5-10	0480-42-9118
18	越谷市防火安全協会	井 橋 吉 一	343-0025	越谷市大沢2-10-15	048-974-0103
19	杉戸町危険物防火安全協会	齊 田 哲	345-0024	北葛飾郡杉戸町堤根4750-1	0480-33-6010
20	春日部市危険物防火安全協会	池 田 勝 明	344-0035	春日部市谷原新田2097-1	048-738-3117
21	加須市危険物防火安全協会	原 田 勝 一	347-0011	加須市北小浜780-1	0480-61-1012
22	草加市防火協会	田 村 研 二	340-0802	八潮市鶴ヶ曽根1185	048-996-0660
23	久喜地区防火安全協会	小 嶋 明 夫	346-0021	久喜市上早見396	0480-21-2712
24	戸田市防火安全協会	中 島 直 人	335-0021	戸田市新曽1875-1	048-420-2125
25	秩父防火安全協会	小 池 文 喜	368-0021	秩父市下宮地町10-25	0494-21-0121
26	蕨防火協会	渡 邊 和 政	335-0005	蕨市錦町5-1-22	048-441-0174
27	吉川松伏防火安全協会	大 舘 広 知	342-0016	吉川市会野谷481	048-982-3919
28	新座市防火安全協会	並 木 重 和	352-0011	新座市野火止2-9-45	048-478-1311
29	和光市防火安全協会	神 杉 章	351-0106	和光市広沢1-3	048-461-7850
30	志木市保安防火安全協会	高 橋 英 明	353-0004	志木市本町1-3-1	048-472-0812
31	三郷市防火安全協会	市 川 文 雄	341-0038	三郷市中央5-45-4	048-952-1298
32	八潮市防火安全協会	大 月 正 雄	340-0802	八潮市鶴ヶ曽根1185	048-996-0660
33	入間市防火安全協会	齊 藤 俊 明	358-0026	入間市小谷田581	04-2962-7257
34	入間東部地区防火安全協会	大 曾 根 豊	356-0058	ふじみ野市大井中央1-1-19	049-261-6007
35	蓮田市防火安全協会	高 橋 賢 司	349-0133	蓮田市閨戸178-1	048-768-1109
36	北本市防火安全協会	鈴 木 明 男	364-0032	北本市緑3-396	048-592-5005
37	桶川市防火安全協会	青 木 啓 一	363-0011	桶川市北1-25-23	048-773-1190
38	坂戸・鶴ヶ島防火安全協会	梅 澤 將 明	350-0221	坂戸市鎌倉町16-16	049-281-3117
39	白岡市防火安全協会	黒 須 大 一 郎	349-0214	白岡市寺塚162-1	0480-92-1502
40	日高市防火安全協会	本 木 信 一	357-0015	飯能市小久保291	042-974-7221

役 員 名 簿

令和元年8月1日現在

役職名	氏 名	所 属		
		ブロック	所 属	役職名
名誉会長	上 田 清 司	－	埼 玉 県	知 事
顧 問	森 尾 博 之	－	埼 玉 県 危 機 管 理 防 災 部	部 長
顧 問	鶴 見 恒	－	埼 玉 県 危 機 管 理 防 災 部 消 防 防 災 課	課 長
顧 問	新 藤 純 治	－	埼 玉 県 消 防 長 会	会 長
顧 問	山 口 武 義	－		埼危連前会長
会 長	榎 田 達 治	2	比 企 地 区 危 険 物 防 火 安 全 協 会	会 長
副 会 長	高 橋 賢 司	4	蓮 田 市 防 火 安 全 協 会	会 長
副 会 長	青 木 啓 一	1	桶 川 市 防 火 安 全 協 会	会 長
副 会 長	廣 瀬 三 郎	3	深 谷 地 区 防 火 安 全 協 会	会 長
副 会 長	小 寺 崇 夫	2	朝 霞 市 防 火 安 全 協 会	会 長
理 事	小 池 文 喜	3	秩 父 防 火 安 全 協 会	会 長
理 事	神 杉 章	2	和 光 市 防 火 安 全 協 会	会 長
理 事	吉 澤 利 雄	1	公益社団法人川口市防火安全協会	会 長
理 事	齊 田 哲	4	杉 戸 町 危 険 物 防 火 安 全 協 会	会 長
理 事	有 山 佳 男	1	公益社団法人さいたま市防火安全協会	会 長
理 事	麻 原 正 男	2	西 入 間 広 域 危 険 物 防 火 安 全 協 会	会 長
理 事	入 基 弘	3	児 玉 郡 市 防 火 安 全 協 会	会 長
理 事	長 島 清	4	羽 生 市 危 険 物 防 火 安 全 協 会	会 長
理 事	久保田 英 治	1	鴻 巣 市 防 火 安 全 協 会	会 長
理 事	井 橋 吉 一	4	越 谷 市 防 火 安 全 協 会	会 長
常務理事	林 秀 平	－	公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会	事務局長
監 事	鈴 木 明 男	1	北 本 市 防 火 安 全 協 会	会 長
監 事	齊 藤 俊 明	2	入 間 市 防 火 安 全 協 会	会 長
監 事	手 島 幸 成	3	幸 手 市 危 険 物 防 火 安 全 協 会	会 長

平成31年度（令和元年） 危険物取扱者保安講習のご案内

平成31年度危険物取扱者保安講習の9月以降の開催予定は次のとおりです。該当する方は必ず受講してください。なお、講習案内、受講申請書は危険物安全協会、防火安全協会等（消防本部内又は一部消防署内）にあります。受講申込みの際には、免状と埼玉県収入証紙4,700円（受講手数料）が必要です。

講習日・講習会場・定員

種 別	講 習 日	講 習 会 場	定員
給油取扱所	9月18日(水)	春日部市民文化会館	400
	9月26日(木)	熊谷市立文化センター文化会館	500
	9月27日(金)	川越西文化会館	350
	12月4日(水)	さいたま市民会館うらわ	450
	1月28日(火)	さいたま市民会館うらわ	450
その他の施設	10月18日(金)	川越西文化会館	350
	10月23日(水)	三郷市文化会館	390
	10月29日(火)	熊谷市立文化センター文化会館	500
	10月30日(水)	久喜総合文化会館	300
	11月6日(水)	朝霞市民会館ゆめばれす	432
	11月21日(木)	さいたま市民会館うらわ	450
	12月5日(木)	さいたま市民会館うらわ	450
	1月30日(木)	さいたま市民会館うらわ	450

講習時間は13時～16時10分(12時30分から受付)

注) 各会場とも申込者が定員になり次第締め切ります。お早めにお申し込みください。
この講習のお問い合わせは、最寄りの各協会（20ページ「会員名簿」参照）、又は当連合会
(TEL 048-834-7784 ホームページ <https://www.saikiren2007.or.jp/>) までお願いします。

平成31年度（令和元年） 危険物取扱者試験準備講習会のご案内

危険物取扱者試験受験者の予備知識向上のため、次のとおり試験準備講習会を開催します。直前対策として、試験合格の近道だと思いますので、奮って受講されるようご案内します。

講習日・講習会場・定員

種別	期別	講 習 日	講 習 会 場	定員
甲種	2期	9月7日(土)・8日(日)	埼玉県防災学習センター	100
	3期	1月25日(土)・26日(日)	埼玉県県民活動総合センター	100
乙種 第4類	6期	9月11日(水)・12日(木)	キララ上柴(深谷市)	120
	7期	9月21日(土)・22日(日)	川越西文化会館	100
	8期	10月9日(水)・10日(木)	朝霞市産業文化センター	130
	9期	10月16日(水)・17日(木)	川越西文化会館	100
	10期	11月2日(土)	埼玉県防災学習センター	100
	11期	11月9日(土)・10日(日)	埼玉県県民活動総合センター	100
	12期	11月19日(火)・20日(水)	川口総合文化センターリリア	100
	13期	12月7日(土)・8日(日)	埼玉県防災学習センター	100
	14期	2月1日(土)・2日(日)	埼玉県防災学習センター	100
	15期	2月8日(土)・9日(日)	キララ上柴(深谷市)	120
	16期	2月15日(土)・16日(日)	埼玉県県民活動総合センター	100
	17期	2月23日(日)	埼玉県県民活動総合センター	100

10期17期は1日の講習です。試験直前講習で、以前に準備講習会を受講された方などが対象です。
申し込み方法等 各協会（20ページ「会員名簿」参照）又は当連合会（TEL 048-834-7784 ホームページ <https://www.saikiren2007.or.jp/>）までお問い合わせください。